

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-30843

(43) 公開日 平成7年(1995)1月31日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/907	B	7734-5C		
5/00	A			
5/91		7734-5C	H 0 4 N 5/ 91	J
審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)				

(21) 出願番号 特願平5-173414

(22) 出願日 平成5年(1993)7月13日

(71) 出願人 000000549

株式会社大林組

大阪府大阪市中央区北浜東4番33号

(72) 発明者 金 仁具

東京都千代田区神田司町2丁目3番地 株式会社大林組東京本社内

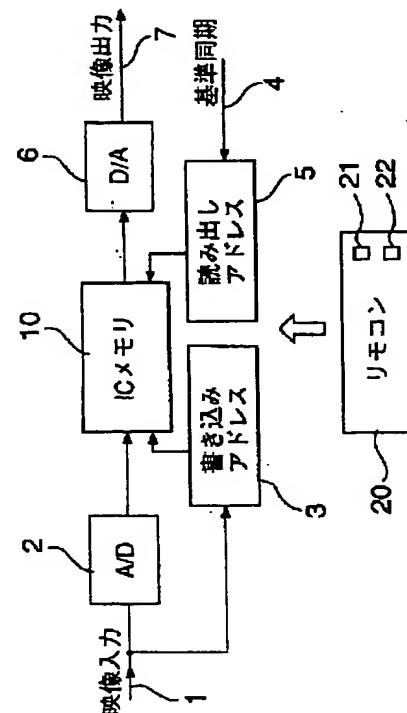
(74) 代理人 弁理士 一色 健輔 (外2名)

(54) 【発明の名称】 テレビ画面を記憶させる方法

(57) 【要約】

【目的】 テレビ放送画面を見ているときに、その画像を素速く記憶することを可能とする。

【構成】 テレビ放送の一画面を静止画面として記録するに際し、予め静止画面数枚分の記憶用ICメモリ10をテレビ受像機本体に内設しておき、該ICメモリにリモコン20の録画ボタン21の操作で静止画面数枚分の必要画像を記憶させ、該リモコンの再生ボタン22の操作で該ICメモリから前記必要画像を再生させる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 テレビ放送の一画面を静止画面として記録するに際し、予め静止画数枚分の記憶用 IC メモリをテレビ受像機本体に内設しておき、該 IC メモリにリモコンの録画ボタンの操作で静止画数枚分の必要画像を記憶させ、該リモコンの再生ボタンの操作で該 IC メモリから前記必要画像を再生させることを特徴とするテレビ画面を記憶させる方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、テレビ画面を記憶させる方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、テレビ放送画面を見ていて、メモしたいときがある。料理番組の準備をする材料やクイズ番組の宛先の画面などであり、かかる場合、従来はテレビの画面を見ながら手書きで写したり、予め準備したビデオ装置で録画していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、手書きだと写し終わる前に画面が変わったり、ビデオ装置の場合では録画準備ができていないために録画できないことがある。

【0004】 そこで、本発明の目的は、上記課題を解決し、テレビ放送画面を見ていてメモしたいとき、そのテレビ画面を素速く記憶させる方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明は、テレビ放送の一画面を静止画面として記録するに際し、予め静止画数枚分の記憶用 IC メモリをテレビ受像機本体に内設しておき、該 IC メモリにリモコンの録画ボタンの操作で静止画数枚分の必要画像を記憶させ、該リモコンの再生ボタンの操作で該 IC メモリから前記必要画像を再生させるようにしたものである。

【0006】

【作用】 テレビ受像機本体に予め専用の静止画数枚分の必要画像記憶用の IC メモリを搭載させ且つそのテレビ受像機のリモコンと連係させているため、ビデオカセットテープレコーダ装置の場合のようにビデオカセットを装着したり、別途の電源スイッチを投入する必要なしに、テレビ放送を見ているテレビ受像機本体に対して、手元のリモコンの録画ボタンを操作することだけで、いつでも所望する画像を IC メモリに蓄積し、必要に応じてリモコンの再生ボタンを操作することだけでこれを再生させることができる。

【0007】 従って、テレビ放送画面を見ていて、メモしたい場合、その必要情報を、画面が移ってしまう短時間の間に、すばやく記憶させメモすることができる。

【0008】

【実施例】 以下、本発明の一実施例を添付図面に基づいて説明する。図において、10 はテレビ放送の一画面を静止画面として記録するための IC メモリであり、最低でも静止画 1 枚分を記憶するための容量を有し、テレビジョン受像機（テレビ受像機本体）内に装置される。本実施例では、IC メモリ 10 はテレビジョンの画像 3～5 枚分、つまり 3～5 フレームを蓄積しうる容量を有する。

【0009】 20 は、ワイヤレスリモコンであり、録画ボタン 21 及び再生ボタン 22 を有する。

【0010】 リモコン 20 の録画ボタン 21 を操作すると、アナログ／デジタル（A/D）変換器 2 を通してデジタル信号に変換されていた映像入力 1 が、書き込みアドレス 3 に従って IC メモリ 10 に書き込まれて行く。IC メモリ 10 にある程度蓄積されると、次に、基準同期 4 の読み出しアドレス 5 に従って読み出しが開始され、読み出された映像信号は、デジタル／アナログ（D/A）変換器 6 を通してアナログ信号の映像出力 7 に変換される。

【0011】 このように、テレビ受像機本体内に予め専用の静止画数枚分の必要画像記憶用の IC メモリ 10 を搭載させておくことにより、ビデオカセットテープレコーダ装置の場合のようにビデオカセットを装着したり、別途の電源スイッチを投入する必要なしに、テレビ放送を見ているテレビ受像機本体に対して、手元のワイヤレスリモコン 20 の録画ボタン 21 を操作することだけで、いつでも所望する画像を IC メモリ 10 に蓄積することができる。この蓄積された画像の再生も、手元のワイヤレスリモコン 20 の再生ボタン 22 を操作することだけで、極めて簡単に行わせることができる。

【0012】 尚、3～5 画面程度の記憶容量を有する IC メモリ 10 の記憶内容が一杯になり、更に記憶させようとしたときには、一番古い内容から自動的に消去されて行くようにする。また、再生ボタン 22 を押すと一番新しい画面が表示され、更に再生ボタン 22 を押すことによってその前の画面が表示されるようにする。

【0013】

【発明の効果】 以上要するに本発明によれば、テレビ放送画面を見ていて、メモしたい場合、その必要情報を、画面が移ってしまう短時間の間に、すばやく記憶させメモすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施例を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 映像入力
- 2 アナログ／デジタル（A/D）変換器
- 3 書き込みアドレス
- 4 基準同期
- 5 読み出しアドレス
- 6 デジタル／アナログ（D/A）変換器

7 映像出力

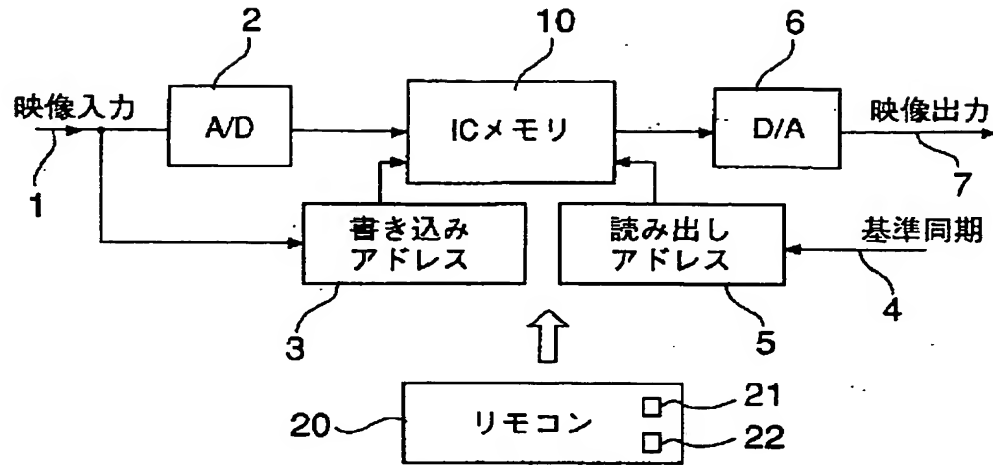
10 ICメモリ

20 ワイヤレスリモコン

21 録画ボタン

22 再生ボタン

【図1】



THIS PAGE BLANK (USPTO)